



OHARAサポーター倶楽部会報

丸窓

[第27号] 令和4年 冬

《掲載情報》

- ・大原美術館会活動報告
- ・特別企画のご案内
- ・大原美術館後援会イベントのご案内 など

発行:大原美術館後援会事務局

大原美術館活動報告

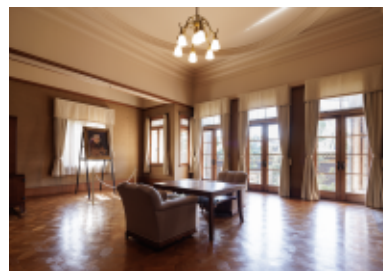
令和4年秋の有隣荘特別公開 マティス—光と色と

このたびは、3年ぶりの有隣荘特別公開のみならず、大原美術館での展覧会自体3年ぶりの開催となりました。約8,700名という沢山の方々に足を運んでいただき、おかげ様で、展覧会事業の明るい再スタートとなりました。誠にありがとうございました。

展覧会では、アンリ・マティスの作品をコレクションからまとめて展示しました。そして、この展示を通して、『山陽新聞』が「コロナ禍において再スタートする大原美術館」と「戦後復興期の大原美術館」とを重ねた記事を書いてくださいました。

戦後日本で行われた第一弾の海外作家展覧会が1951年のマティス展でした。それは、東京、大阪、そして私たちの大原美術館にも巡回します。当時の写真を見ると、展示室内は満員電車のようにお客さんで一杯に。その様子は、この展覧展が、戦中から途絶えていた海外の文化的なものに日本人が広く触れることのできた画期的な機会であったことを伝えてくれます。そして、この度、有隣荘で展示した作品のほぼすべてが、1951年のマティス展で展示されたものだったのです。「戦後の大原美術館」と「withコロナの大原美術館」というふたつの大きな歩みが「マティス」を介して結び付いた、そのような展覧会でもありました。

(チームみせる 主任学芸員 孝岡睦子)



洋間



和室2階《ジャズ》展示風景

特別企画のご案内



ツアーの様子



ツアーの様子

お散歩気分でお気軽にご参加ください！ 大原美術館 歴史探訪ツアー

大原美術館歴史探訪ツアーとは？

大原孫三郎、大原總一郎ゆかりの建物を巡りながら、倉敷の歴史や倉敷の人々が条例により官民一体となって町を守っている町づくりなどを紹介します。路地を巡ることで、息づく生活や文化を感じ、まるで倉敷に住んでいて、お散歩しているように楽しんでいただくツアーです。

開催日は、2023年3月末までの第2第4土曜日、料金はお一人様2,500円で5名様から催行になります。事前の申し込みが必要となりますので、大原美術館にお電話いただくか、予約サイトアソビュー(右記QRコード)より手続きをお願いいたします。

ぜひご参加をお待ちしています！



歴史探訪のコース(所要時間 約1時間)

①新児島館(仮称)→②有隣荘→③大原美術館本館→④大原美術館工芸・東洋館→⑤倉敷国際ホテル→⑥大原美術館分館→⑦倉敷民藝館→⑧倉敷考古館→⑨倉敷アイビースクエア

大原美術館後援会イベントのご案内

「O氏とY氏による美へのいざない」と題して、イベントを開催します！

昨年末に実施したアンケート・プレゼント企画が大変好評でしたので、「O氏とY氏による美へのいざない」と題して、学芸員の解説付き鑑賞ツアーイベント第二弾を開催いたします。また、ツアーにご当選された会員さまとご同伴者の方も1名まで無料でご参加いただけるご紹介キャンペーンを併せて実施いたします。

開催日:2023年1月18日(水)、1月22日(日)、2月5日(日)、2月17日(金)

時間:15:30~17:00

定員:各日20人 ※申込が定員を超えた場合、抽選のうえ参加者を決定します。

申込方法:参加希望の方は、FAXもしくはE-mailにて、お名前、お電話番号、参加希望日(複数選択可)をお知らせください。

FAX 別紙の【参加申込書】をご利用ください。 E-mail supporter@ohara.or.jp

申込締切:12月20日(火)

＊ツアー当選者発表について＊

1月開催のツアー当選者には12月30日頃、2月開催のツアー当選者には1月18日頃にご連絡いたします。(落選の連絡はございませんのでご了承ください)



過去のイベントの様子

大原美術館の活動あれこれ

大原美術館と小学校との連携事業 学校まると美術館について



今年度も「学校まると美術館」の季節が近づいてきました！

「学校まると美術館」とは、大原美術館の近くにある倉敷市立倉敷東小学校、倉敷市立倉敷西小学校の全校児童が、それぞれ美術館の休館日を利用して来館し、学校の先生が美術館を使った授業を展開する事業です。

先生方が考えられる授業は、いわゆる図画工作だけではなく、美術館や作品に出会い親しみを持つことを目的とした授業や、国語科や社会科、キャリア教育などに結び付けた授業を展開しています。

私たち美術館は、日頃入館券売り場や監視業務にあたるスタッフ、アテンダント・スタッフなど多くの大人たちが子どもたちの活動を見守り、館全体として、授業や子どもたちの体験をサポートしています。

学校まると美術館で来館する児童は、いつも展示してある作品に対して「久しぶり！」と、作品との再会を喜び、今を生きる作家に作品を通して出会うことを楽しんでいます。

今年度も、児童たちが美術館でどのような出会いと体験をするのか？今からとても楽しみです。

(チームみせる 寺元静香)

表紙の写真



有隣荘

倉敷の商家であった大原家の別邸として1928(昭和3)年に完成した有隣荘。このたび「マティス—光と色と」と題し、特別公開を行いました。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。また残念ながらお越しいただけなかった会員さま、次回の有隣荘特別公開へのご来場をお待ちしております。

後援会事務局より

入館料改定のお知らせ

この度2023年4月より、大原美術館の一般入館料を1,500円から2,000円に改定させていただくこととなりました。なお、後援会年会費については据え置きといたします。

後援会活動も例年どおりとはいかない状況が続いておりますが、少しずつイベントや行事を再開してまいりたいと思っております。

会員のみなさまにはなお一層のご愛顧とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

大原美術館 〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15

TEL(086)422-0005 FAX(086)427-3677

<https://www.ohara.or.jp/>

